

科目名称：	障害児保育実習Ⅰ	
担当者名：	中村 明成、和泉 美智枝	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
実際に様々な保育現場（保育園・こども園・幼稚園・障害者支援施設）を訪問し、「現場参加」を体験する。二人でペアを組み、対象となる「子ども」を中心に、保育の現場で、保育者が実際にどうかかわっているか、特にコミュニケーションに焦点を当てて、自らもかかわってみる。その記録をまとめ、指導していただく保育者とのミーティング、カンファレンスも実施する。そこから、かかわることの意味を考えていく。		
授業の達成目標・到達目標		
子どもの行動の意味を、実際のかかわりからより深く考える。後期の「障害児保育実習Ⅱ」に向けて、記録のとり方、考察に至るプロセスを理解する。		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	
DP(3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)					0
幼児教育DP(4)			100		100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》（中村）障害者支援施設支援員	《経験年数1》11年10か月
	《内容2》（和泉）特別支援学校教員	《経験年数2》2年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 オリエンテーションと学習の進め方 履修した理由と学習内容に対する希望	シラバスを読んでおく	40分
第2回 前期現場参加についての事前学習（ねらい）	昨年度成果発表会冊子の読み込む	30分
第3回 前期現場参加についての事前学習（観察方法・記録）	現場参加先の情報を理解しておく	30分
第4回 前期現場参加	現場参加の記録を整理する	60分
第5回 前期現場参加	現場参加の記録を整理する	60分
第6回 前期現場参加	現場参加の記録を整理する	60分
第7回 前期現場参加	保育者とのカンファレンスの内容を整理してまとめる	40分
第8回 前期現場参加	保育者とのカンファレンスの内容を整理してまとめる	40分
第9回 前期現場参加	現場参加の記録を整理する	60分
第10回 前期現場参加	現場参加の記録を整理する	60分
第11回 前期現場参加	現場参加の記録を整理する	60分
第12回 前期現場参加	保育者とのカンファレンスの内容を整理してまとめる	40分
第13回 前期現場参加	保育者とのカンファレンスの内容を整理してまとめる	40分
第14回 前期現場参加	学内でのカンファレンスをまとめて記録する	40分
第15回 前期現場参加の記録のまとめ	学内でのカンファレンスをまとめて記録する	60分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、現場参加の記録をまとめる。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。  
課題（毎回の現場参加の記録をまとめ、確認する。現場参加先のミーティングや学内でのカンファレンスをまとめる。） 1

#### 課題に対するフィードバック

教員が、現場参加先を訪問し、学生の関わりを確認する。指導する保育者にもかかわる目的を説明し、理解を深めて指導していただく。

#### 教科書・参考書

なし